学校番号	１０１２

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	実用書	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「ペン字講座」で培った表現や美的感覚を、今度は用具を変えて表現できるように取り組んでいく。様々な知識や能力をより一層伸長し能力をいかした作品制作もしていく。
・硬筆、毛筆検定にも挑戦できるように基本から段階的に学習していく。
・コンクールや展覧会に出品することにより、「書くこと」に対する意欲を引き出す。

2　学習の到達目標

・鉛筆やボールペンで反復練習をし、文字を書く力をつける。
・バランスよく表現できるように各ポイントを押さえながら重点的に取り組み、技術を習得する。
・筆ペンや小筆など普段書きなれない用具を使用し毛筆の伝統や文化を味わう。
・様々な活動を通して、手書き文字への意識を高め積極的に技術向上に努める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・反復練習で喜びや達成感を味わい、主体的に文字のバランスや全体の美的感覚、表現方法や形式等について幅広く理解している。 ・硬筆能力を向上させるとともに、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表現している。	・毛筆や筆ペンのよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 ・楷書や行書など様々な書体の美を味わい捉えたりしている。	日常生活でも丁寧で美しい字を意識して、主体的に表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期		・様々な書体について知る ・用具の多様性と使い方、用具が日常生活にどのように使われているのかを知る ・鉛筆で字を書く ・硬筆展	a:文字の歴史や用具の使い方を理解している。 b: バランスの良い字の書き方を理解し、表現している。 c: 姿勢よく、鉛筆を正しく持って取り組んでいる	プリント	プリント	取り組みの様子
	暑中見舞い	・暑中見舞いの歴史や意味 ・書き方を知る ・下書き ・練習 ・清書	a:暑中見舞いの文化を知り、書き方を理解している。 b:全体的にバランスよく気持ちを込めて表現している。 c:試行錯誤を繰り返しながら丁寧に取り組んでいる。	プリント 作品	作品	取り組みの様子 振り返りプリント
2学期	硬筆検定に向けて（2級）	プリント学習 ・速書き・横書き・縦書き ・行書の練習 ・楷書と行書の書き分け ・手紙の書き方(行書) ・掲示物の書き方	a:楷書と行書の違いを理解している。 a:中心をそろえてまっすぐ書いている。 b:行の端をそろえてバランスよく書いている c:何度も練習を繰り返し、意欲的に取り組んでいる。	プリント	プリント	取り組みの様子 振り返りプリント
	年賀状	・年賀状の歴史を知る ・年賀状の書き方、賀詞の練習 ・構成を考える ・半紙に練習 ・清書 ・色付け	a:年賀状の歴史や書き方を理解している。 b:それぞれの文字の大きさを理解し丁寧に表現している。 b:文字を引き立たせるような背景の色付けや表現を工夫している。 c:丁寧に最後まで手を抜かずに真剣に取り組んでいる。	作品	作品	取り組みの様子 振り返りプリント
3学期	枕草子の詩を書く(小筆)	・字を調べて行書で書く ・作品全体の構成を考える （墨継ぎの場所、見せ場など） ・半切に練習する ・清書の紙に練習する	a:行書の形や線をよく捉えて書いている。 b:効果的な場所で墨継ぎや見せ場を作っている。 c:何度も試行錯誤しながらよい作品にしようと考えて取り組んでいる。	作品	作品	取り組みの様子 振り返りプリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度